

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	福島っ子松本留学支援事業		
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人まつもと子ども留学基金 事務局 080-4716-2011		
事業区分	⑧その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ソフト・ハード		
総事業費	1,342,598	円 (うち支援金 :	922,000 円)

事業内容

東日本大震災による原発事故で被災した子どもが、被災地を離れて、自然豊かな松本市四賀地区で生活して、地元の公立小中学校へ通学することを支援した。地域住民との交流の促進を目指した。

○紙媒体によるニュースレターを作成。地域住民への配布

○講演会開催。テーマ：「福島は今どうなっているの？～2016年問題とは」

講師：おしどりマコさん、ケンさん。

○空き家を利用して、留学生の寮を運営。住環境を改善するために、洗濯物干し用テラス、屋外オイルタンクを設置した。



【 講演会 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○紙媒体によるニュースペーパーを昨年度より 1000 部増刷して、より多くの地域住民へ配布することができた。子どもたちのことや地域住民との交流の様子を知ってもらうことができた。

○震災から5年が経ち、少しずつ、震災に対する関心が薄れる中、講演会では、未だ厳しい被災地の現状を知ってもらうことができた。(参加者 48 名)

○洗濯物干し用テラスの設置により、それまで、洗濯物を干していたスペースを交流スペースとして広く使えるようになった。新しいオイルタンクを設置して、安全性が高まった。

【目標・ねらい】

- ①震災で被災した子どもたちが安心して生活、通学すること
- ②地域住民との交流を促進して、地域の活性化に寄与する

※自己評価 【 B 】

【理由】

地域での交流が増えて、子どもたちの生活が充実したものとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

○住環境が改善され、地域住民との交流が進んでいることによって、子どもたちが安心して生活できている。そのことを、被災地で大きくアピールして、今後も受け入れを継続していく。

○子どもの健康状態が改善され、松本の高校への進学、それに伴い、親が被災地から移住するケースを増やしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある